

令和元年度

事業報告書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

社会福祉法人

埼玉県身体障害者福祉協会

埼玉県障がい者共同作業所

はじめに

令和元年度の埼玉協は、昨年につき障害者への理解をさらに深め、法律や条例等が地域社会に定着し、実効あるものとしていくため、引き続き各市町村福祉会と連携して取り組んでいくとともに、共生社会づくりに基づき、障害を理由とする差別に関する相談事例の共有や差別を解消するための取り組みを行い、解消法などを踏まえ、障害者に対する合理的配慮などについて普及啓発を行った。

また、ノーマライゼーションの理念の普及啓発を図るため、障害者団体や市町村などと連携を図りながら啓発の取組を推進する。このような状況の中にあつて、埼玉協と各市町村福祉会は非常に厳しい財政や組織運営上の課題に直面している。課題解決に向け、埼玉協のより一層の事業展開と各福祉会の基盤整備及び会員の増強に、今年度も両者一丸となつて取り組む体制を整備したい。

埼玉協の主な事業

1 第66回身体障害者温泉療養 共同募金配分事業6月19日(水)～21日(金)

参加 県内19福祉会参加にて実施

場所 栃木県 那須塩原温泉 ホテルニュー塩原

主催 埼玉県身体障害者福祉協会

参加者 一般障害者・付添・役員・事務局

合計 延 234人

2 身体障害者福祉のための第61回埼玉県児童生徒美術展覧会

打合せ会 2月22日(金) 7月4日(木)

埼玉県障害者交流センター

中央審査会 8月22日(木)

埼玉県障害者交流センター ホール

埼玉県知事賞をはじめ特別賞68点を選考した。

展覧会 10月19日(土)～20日(日) 見学者 約2,500人

会場 東松山市 松山第一小学校 体育館

主催 埼玉県身体障害者福祉協会

共催 埼玉県美術教育連盟

後援 埼玉県、埼玉県議会、埼玉県教育委員会、埼玉県社会福祉協議会、さいたま市、さいたま市議会、さいたま市教育委員会、さいたま市社会福祉協議会、東松山市、東松山市議会、東松山市教育委員会、東松山市社会福祉協議会、日本身体障害者団体連合会、埼玉県共同募金会、日本赤十字社埼玉県支部、埼玉縣市町村教育委員会連合会、埼玉県公立小学校校長会、埼玉県中学校校長会、埼玉県特別支援学校校長会、埼玉県連合教育研究会、朝日新聞さいたま総局、共同通信社さいたま支局、埼玉新聞社、産経新聞社さいたま総局、時事通信社さいたま支局、テレ玉、東京新聞さいたま支局、NHKさいたま放送局、毎日新聞社さいたま支局、読売新聞さいたま支局、株式会社エフエムナックファイブ

協賛校	小学校	798校	490,446枚
	中学校	279校	58,943枚
	特別支援校	2校	36枚
	合計	1,079校	549,425枚
出品作品数			89,989人
入選作品数			17,051人 賞状
うち特選作品数			750人 賞状
うち特別賞作品数			68人 賞状・盾

3 地区別福祉研修会 共同募金配分事業

研修会開催内容

- 第1・5区 桶川市 市役所会議室 2月5日(水) 参加者 36人
「難病をおして市議会議員に立候補した経緯について」
講師 桶川市議会議員 浦田 充 氏
- 第2区 嵐山町 総合福祉センター 2月25日(火) 参加者 48人
『OK-OKの関係で楽しい毎日を』
講師 日本交流分析協会
交流分析士 インストラクター 前島 佳代子 氏
- 第3区 寄居町保健福祉総合センター 2月21日(金) 参加者 38人
「障害者福祉の動向」
講師 社会福祉法人 はぐくむ会
法人本部 事務局長 根岸 昭博 氏
- 第4区 春日部市 あしすと春日部 2月15日(土) 参加者 48人
「ユニバーサルデザインについて」
講師 埼玉県ユニバーサルデザイン推進アドバイザー
福永 順彦 氏

4 日本身体障害者団体連合会

第64回 日本身体障害者福祉大会秋田大会

テーマ 「改正バリアフリー法への期待」

開催日 令和元年5月23日(水)～5月24日(木)

参加者 約1,500人 (内 埼玉県 参加者 13名)

会場 5月23日(木) 秋田キャッスルホテル

5月24日(金) 秋田県立武道館

5月23日(木) 評議員会・政策協議(基調講演・シンポジウム)・
歓迎レセプション

5月24日(金) 福祉大会

福祉大会

あいさつ、表彰、平成30年度事業報告、平成31年度事業計画、政策協議報告、大会宣言採択、大会決議採択、次回大会開催地代表あいさつ、閉会のことば、がんばろう三唱

大会決議

- 一、 障害の社会モデルの理解啓発を強く推進しよう
- 一、 地域に根ざした心のバリアフリーを広げよう
- 一、 災害時における被災者支援の充実を図ろう
- 一、 障害者差別を禁止する条例を全国に制定させよう
- 一、 地域の相談支援体制に身体障害者相談員を活用しよう

- 5 日身体障害者団体連合会 関東甲信越静ブロック協議会
令和元年度 春季日身連関東甲信越静ブロック協議会
団体長会議 千葉県 オークラ千葉ホテル
6月13日(木)～14日(金) 埼玉県 出席者 2人
令和元年度 秋季日身連関東甲信越静ブロック協議会
代表者会議 新潟県 ホテル日航新潟
10月1日(火)～2日(水) 埼玉県 出席者 3人

6 埼玉県委託事業

- 埼玉県身体障害者結婚相談員設置事業 共同募金配分事業
結婚を希望する身体障害者に対し、結婚に関する各種相談等に応じる。
結婚相談員が火・木(浦和合同庁舎)、土(障害者交流センター)

結婚希望登録者数 男性 195人 女性 42人 計 237人
新規登録者数 男性 2人 女性 0人 計 2人
年間相談件数 計 273件
結婚成立 5組

- ・ 関東甲信越静ブロック 障害者結婚相談実務担当者連絡会
千葉県 県社会福祉会館 4月12日(金) 埼玉県参加者2人
加盟団体 16都県政令市
- ・ 第86回 ふれ愛のつどい交流会 交流 歓談・マッチングカード
埼玉県障害者交流センター 7月7日(日) 参加者7人
- ・ 第87回 ふれ愛のつどい交流会 交流 歓談・マッチングカード
埼玉県障害者交流センター 12月1日(日) 参加者9人
- ・ 令和元年度関東甲信越静ブロック 合同友愛の集い
栃木県 会場 県庁 11月30日(土)
事業参加者 100人(内埼玉県参加者0人)
- ・ 第46回 ジャンボひまわりの集い
山梨県県立図書館 3月1日(土) 埼玉県参加者1人

7 埼玉県身体障害者相談員活動推進員設置事業

身体障害者相談員の資質の向上と活動の促進を図り、身体障害者福祉の増進に資することを目的として、身体障害者相談員の指導及び研修の企画推進にあたる身体障害者活動推進員が事務所に常勤している。

権限移譲により、身体障害者相談員は各市町村委嘱となる。

身体障害者相談員委嘱者数 令和元年6月1日現在

市町村長委嘱	132人
川越市長委嘱	14人
さいたま市長委嘱	18人
合計	164人

○ 身体障害者相談員研修会

第1回 身体障害者相談員研修会

埼玉県障害者交流センター

平成30年7月12日（木） 参加者 121人

「第5期埼玉県障害者支援計画の概要について」

講師 埼玉県福祉部 障害者福祉推進課計画・団体担当

主査 岩崎 敏雄 氏

「障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス制度について」

講師 埼玉県福祉部 障害者支援課

主幹 柿沼 和幸 氏

第2回 身体障害者相談員研修会

埼玉県障害者交流センター

平成30年10月8日（月・祝） 参加者 111人

「大災害時に障がい者を守るために～近年の大災害に学ぶ」

講師 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部

教授 鍵屋 一 氏

第3回 身体障害者相談員研修会

埼玉県障害者交流センター研修室1・2

平成30年12月 2日（日） 参加者 71人

「埼玉障害者職業センターの就労支援の実際」

講師 埼玉障害者職業センター 障害者職業カウンセラー

主幹 小池 磨美 氏

第4回 身体障害者相談員研修会

ウエスタ川越 活動室1

平成30年12月 15日（土） 参加者 43人

「埼玉障害者職業センターの就労支援の実際」

講師 埼玉障害者職業センター 障害者職業カウンセラー

主幹 小池 磨美 氏

- 関東甲信越静ブロック身体障害者相談員研修会参加
身体障害者相談員の資質の向上、相談業務の充実、情報交換等を図ることを目的として開催。

千葉県 ホテルポートプラザ ちば 参加者数
令和元年9月3日(火) 埼玉県
講演 「身体障害者と相談員」
講師 千葉県身体障害者福祉協会
顧問 神林保夫氏
講演 「心に響くコミュニケーション言葉の力無限大」
講師 日本ペップトーク普及協会
代表理事 岩崎由純氏

8 埼玉県社会参加推進委託事業
障害者生活訓練事業

- ① 第24回技能講習会 令和元年11月12日(火) 参加者 22人
障害がありながら、自動車を運転する者に対し、運転技能を習得させることにより、交通法規の遵守、事故の防止、安全運転の励行に資することを目的として実施した。

川島町 交通教育センターレインボー埼玉
正しいハンドル操作と運転技能の習得
車のブレーキ特性を理解することをテーマに開催
安全運転技能講習終了証授与

- ② ボウリング教室 令和元年7月21日(日) 参加者 29人
ボウリングで身体全身を使うことにより機能訓練にも効果が期待されるとともに、社会生活に必要な常識やマナー等の習得を促進することにより、障害者の活動範囲の拡大を図ることを目的として実施した。

川越市 ウニクスボウル

- ③ 料理講習会 11月21日(木) 参加者 13人
料理実習を行うことにより、健康的な生活と豊かな家庭料理の向上と健康維持を図ることを目的として実施した。

上尾市 上尾公民館(上尾文化センター内)

旬の味覚で秋を楽しむ料理
エリンギご飯
鶏卵汁
栗蒸し羊羹
カジキのコーンフレーク揚げ
焼きしめじとほうれん、黄菊の浸し
講師 大川喜久子氏 スタッフ2名

- ④ 歩行訓練

身体障害者が日常生活に必要な、訓練・指導を行い、社会参加の促進を図るとともに、障害者の福祉向上を目的とする。

併せて、各地区の障害者が安心して外出できるよう、利用する駅等施設「駐車場・昇降設備・案内表示・スロープ等」のバリアフリー状況調査を4カ所で実施した。

横瀬町身体障害者福祉会	参加者	12人
西武秩父線横瀬町駅	12月	17日
西武秩父線芦ヶ久保駅	12月	17日
横瀬町民会館	1月	21日
横瀬町総合福祉センター	1月	22日
ウェルシア秩父横瀬店	1月	17日

長瀨町身体障害者福祉会	参加者	24人
長瀨町中央公民館	1月	17日
秩父鉄道 樋口駅	1月	17日
秩父鉄道 野上駅	1月	17日
長瀨町役場	1月	17日
秩父鉄道 長瀨駅	1月	27日
秩父鉄道 上長瀨駅	1月	27日

上尾市身体障害者福祉会	参加者	9人
上尾市民体育館	1月	18日
上尾市役所	1月	27日
上尾市文化センター	2月	1日

9 埼玉県共同募金会受配事業

- 1 広報紙発行事業
- 2 結婚相談事業
- 3 身体障害者温泉療養事業
- 4 スポーツ大会事業
- 5 地区別福祉研修会事業
- 6 美術展覧会 楯作成事業

10 埼玉協 年間事業等

- 1 日身連収益事業による一般生活用品の取扱い事業
- 2 官公庁等公共施設に自動販売機の設置事業
- 3 県下小、中学校に画用紙、版画用紙の販売事業
- 4 青い鳥団体傷害補償制度取扱い事業
- 5 J R ジパング倶楽部特別会員取扱い事業

☆埼玉協各委員会

○総務委員会 開催

令和元年5月10日（金） 障害者交流センター

- 議 案 第1号議案 平成30年度事業報告について
第2号議案 平成30年度決算報告及び監事監査について
第3号議案 理事及び監事候補者について
第4号議案 定款変更（案）について
第5号議案 定時評議員会の招集について

令和元年7月30日（火） 障害者交流センター

- 議 案 第1号議案 選任解任委員の選出について
第2号議案 地区割について
第3号議案 その他
報告事項 志木市身体障害者福祉会の復会について
(賛助会への入会希望)
神川町身体障害者福祉会の退会について

○広報委員会 開催

広報紙〔埼玉協〕発行・音声CD作成 共同募金配分事業

No.62 広報紙発行 令和元年7月3日付 委員会開催、
県内各市町村福祉会配布、全国の障害者福祉協会配布、
音声CD作成配布、

No.63 広報紙発行 令和2年1月17日付 委員会開催
県内各市町村福祉会配布、県内小中学校配布
全国障害者福祉協会配布
音声CD作成配布

ホームページの運用

☆埼玉協 部会活動

○自動車部会

会員の親睦を図り、身体障害者に対する諸税の減免等、その他運転技能大会を開催し、交通安全思想の普及を図る。

- ① 令和元年度 総会 5月16日（木）
埼玉県障害者交流センター 参加者 22人
- ② 第39回 運転技能競技大会 9月23日（月）
新座市 身体障害者運転能力開発訓練センター 参加者 38人
東園自動車教習所
- ③ 第24回 技能講習会 11月12日（火）
川島町 交通教育センターレインボー埼玉 参加者 22人
「正しいハンドル操作と運転姿勢を習得する・

車のブレーキ特性を理解する」をテーマに開催
安全運転技能講習終了証授与

- ⑤ 一泊研修会及び祈願祭 9月1日(日)～2日(月)
一泊研修 伊豆潮風館 参加者 31人
講演「交通安全・事故防止等について」
講師 東京海上日動火災保険株式会社 岩崎 弘司 氏
祈願祭 三島市 「三嶋大社」 参加者 31人
- ⑥ 第24回無事故・無違反者表彰式及び交通法規講習会 2月20日(木)
埼玉県障害者交流センター 参加者 30人
無事故・無違反者表彰
10年表彰 2人 15年表彰 1人
25年表彰 2人 30年表彰 2人
講演 「Hondaの福祉車両への思い」
講師 本田技研工業株式会社 日本本部
商品ブランド部 福祉事業課
上遠野(かとうの) 雅文(まさふみ) 様
- ⑥ 役員会 随時開催 本部広報委員会 随時参加

○婦人部会

障害婦人の知識と教養向上のため各種事業の開催及び育成強化を図る。

- ① 令和元年度 総会 5月17日(金)
埼玉県障害者交流センター 参加者 16人
- ② 手芸講習会 9月5日(木)
埼玉県障害者交流センター 参加者 14人
かんたん押絵
- ③ 一泊研修会 11月5日(火)～6日(水)
茨城県 五浦観光ホテル 参加者 19人
- ④ 料理講習会 11月21日(木)
上尾公民館(上尾文化センター内) 参加者 13人
旬の味覚で秋を楽しむ料理
講師 大川 喜久子 氏 スタッフ2名
- ⑤ 健康指導教室 2年2月6日(木)
埼玉県障害者交流センター 参加者 36人
「ボッチャを楽しもう!!」
一般社団法人 埼玉県障害者スポーツ協会
事務局長 青葉 辰美
川浪 健志 様

- ⑥ 役員会 随時開催 本部広報委員会 随時参加

○青年部会

青年は組織の中核をなす組織であり、次代をになう人物の育成強化を図り

研修会、スポーツ教室（卓球大会）等を開催

- | | | |
|---|--|----------------------------|
| ① | 令和元年度 総会
埼玉県障害者交流センター | 6月9日（日）
参加者 16人 |
| ② | 青年部育成料理教室
千葉県野田市 清水公園 | 8月26日（土）
参加者 21人 |
| ③ | ボウリング教室
川越市南古谷 ユニクスボウル | 7月21日（日）
参加者 27人 |
| ④ | 一泊研修会
静岡県 伊豆 潮風館 | 9月29日（日）～30日（月）
参加者 18人 |
| ⑤ | スポーツ大会 共同募金配分事業
第36回 卓球大会
埼玉県障害者交流センター 体育館 | 2年2月9日（日）
参加者 143人 |
| ⑥ | 役員会
随時開催 本部広報委員会 随時参加 | |

1.1 令和元年度 理事会・評議員会・監査会開催報告

(1) 理事会開催

- 第1回 令和元年5月15日（水） 埼玉県障害者交流センター
- | | |
|------|---|
| 議案 | 第1号議案 平成30年度事業報告について |
| | 第2号議案 平成30年度決算及び監査報告について |
| | 第3号議案 理事及び監事候補者について |
| | 第4号議案 定款変更（案）について |
| | 第5号議案 定時評議員会の招集について |
| 報告事項 | 社会福祉法人・施設指導監査の結果について
日身連関東甲信越静ブロック協議会の提案議題について |
- 第2回 令和元年5月30日（金）定時評議員会終了後 埼玉県障害者交流センター
- | | |
|----|---------------------------|
| 議案 | 第1号議案 会長及び副会長、常務理事の選定について |
| | 第2号議案 常設委員会及び部会の担当委員について |
| | 第3号議案 その他 |
- 第3回 令和元年9月20日（金） 埼玉県障害者交流センター
- | | |
|----|--|
| 議案 | 第1号議案 令和元年度身体障害者福祉のための、第61回埼玉県
児童生徒美術展覧会表彰式等の担当役員について |
| | 第2号議案 令和元年度生活訓練事業の実施について |
| | 第3号議案 選任解任委員の選出について |
| | 第4号議案 地区割について |
- 報告事項 ●令和元年度 秋季日本身体障害者団体連合会関東甲信越静ブロック
協議会代表者会議の提案議題について
●志木市身体障害者福祉会の復会について

(賛助会への入会希望)

- 神川町身体障害者福祉会の退会について
●令和2年度、温泉療養について
●共同作業所チャリティーコンサートについて

第4回 令和元年11月15日(金) 埼玉県障害者交流センター
議案 第1号議案 分担金について
第2号議案 令和2年度温泉療養プレゼンテーションについて
第3号議案 その他
報告事項 第3回・4回身体障害者相談員研修会について
その他 地区別研修会の日程
令和2年度日身連全国大会について

第5回 令和2年3月19日(木) 埼玉県障害者交流センター
議案 第1号議案 令和元年度補正予算(案)について
第2号議案 令和2年度事業計画(案)について
第3号議案 令和2年度収支予算(案)について
第4号議案 評議員会の招集について
第5号議案 その他
報告事項 (1) 令和2年度分担金について
(2) 業務執行状況の報告について
(3) その他
その他 第65回日本身体障害者福祉大会(広島大会)について
埼玉県・市町村・日身連評議員提案議案に対する意見について

コロナウィルス感染拡大防止等の理由により、書面決議とする。

(2) 評議員会 開催

第1回定時評議員会 令和元年5月30日(水) 埼玉県障害者交流センター
議案 第1号議案 平成30年度事業報告について
第2号議案 平成30年度決算及び監査報告について

第2回評議員会 令和2年3月28日(木) 埼玉県障害者交流センター
第1号議案 令和元年度補正予算(案)について
第2号議案 令和2年度事業計画(案)について
第3号議案 令和2年度収支予算(案)について

コロナウィルス感染拡大防止等の理由により、書面決議とする。

監査会 開催

埼玉協内部監査

令和2年5月14日（月） 埼玉県障害者交流センター
社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会
平成31年度分 理事の業務執行及び財産状況(本部会計・共同作業所会計、
公益事業会計、収益事業会計)について監査を実施。

*コロナウィルス感染拡大防止等の理由により、書面对応とする。

1.2 賛助会員加入状況及び寄附金実績

賛助会員加入状況

1 個人会員 A	23 名
2 個人会員 B	6 名
3 団体会員	16 団体
4 その他寄附申し込み	1 社

賛助会費加入状況	¥400,000
寄附金	¥100,000
合計	¥500,000

令和元年度 埼玉県障がい者共同作業所事業報告

1、 作業所運営状況

利用者の増減について、入所者では1名増になり17名で維持をする。

通所（B型）については、1名が一般就労に移行し、他施設利用のため2名の計3名が退所となっている。新規利用者は4名であった。通所利用者は比較的安定しており、昨年度比較でも、傷害福祉サービス収入700万円の増額となっている。また通所利用者で、定期的に短期入所を利用される方が増えてきており、それらを含めた入所利用福祉サービス収入も、昨年度比較で360万円の増額となっている。今後は2人部屋としての活用も視野に、環境整備が必要である。

施設の館内エアコンがフロンガス規制の改正により、令和元年度から修繕が出来なくなることを踏まえ、改修を計画していたが、赤い羽根共同募金の配分の決定を受け、利用者居室系統で改修を行った。総額約1200万円の事業になり、助成配分金が500万円で事業所負担金が700万円の支出となった。

収入増はあったものの、施設整備の支出も多く、赤字決済となってしまった。エアコンの大規模改修に費やした負担額700万円を差し引くと、赤字額は約400万円で昨年額よりは、幅は減少している。

今後もエアコン改修は残っているが、利用者を中心とした部屋の改修は終了しているので、大きな改修事業は助成の決定をみながら施行を考えたい。

具体的かつ詳細な利用者の状況及び支援費収入と工賃支給状況は下記2の各別紙の通りである。

2、 共同作業所運営状況

- (1) 自立支援費収入の状況（別紙1-表1）
- (2) クリーニング売上収入及び工賃支給状況（別紙1-表2-1, 2-2）
- (3) 利用者の状況（別紙2-表1, 2, 3, 4, 5, 6, 7）

別紙1-表1 障がい者共同作業所の自立支援費収入状況(令和元年度)

年月	A 市町村給付費(補足給付含む)+自己負担費			
	施設入所	就労移行	就労継続B型	給付費計
成31年4月	2,195,864	0	7,643,664	9,839,528
和元年5月	2,291,601	0	7,651,736	9,943,337
6月	2,326,056	0	7,257,444	9,583,500
7月	2,388,798	0	8,089,352	10,478,150
8月	2,289,820	0	5,872,970	8,162,790
9月	2,236,379	0	6,621,918	8,857,147
10月	2,420,554	0	7,712,744	10,133,298
11月	2,321,286	53,404	7,132,279	9,506,969
12月	2,340,553	17,798	7,348,895	9,707,246
令和2年1月	2,383,788	0	6,924,606	9,308,394
2月	2,232,787	0	6,554,260	8,787,047
3月	2,303,605	0	7,329,351	9,632,956
令和元年度合計	27,731,091 (+12.5%)	71,202 (-56%)	86,139,219 (+9.8%)	113,940,362 (+10%)
30年度合計	24,648,283 -21.50%	125,122 (-90.8%)	78,448,813 (-30.7%)	103,222,218 -13%
29年度合計	20,272,428 (-21.2%)	1,377,423 (-67.2%)	59,985,949 (-0.03%)	816,357,800 (-7.32%)
28年度合計	25,743,053 (-15.0%)	4,203,410 (-58%)	58,145,205 -1.47%	88,091,668 (-3.16%)
27年度合計	30,284,616 (-2.78%)	10,006,200 (192.8%)	50,674,532 (-5.64%)	90,965,348 (1.01%)

注1 「年度合計」欄の下段()内は、各年度の対前年度比(%)

別紙1 表2-1 クリーニング売上収入及び工賃支給状況(就労継続B型+就労移行)

	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	売上収入	工賃総額	平均工賃	売上収入	工賃総額	平均工賃	売上収入	工賃総額	平均工賃
4月	1,042,474	661,481	14,074	927,372	390,000	7,959	1,043,729	573,509	10,241
5月	1,025,722	661,413	14,073	1,022,822	1,000,000	20,408	1,173,489	763,012	13,625
6月	1,041,940	712,971	15,170	927,864	500,000	10,204	900,669	588,414	10,698
7月	998,495	699,747	15,550	1,008,745	580,000	11,836	1,183,206	713,500	13,212
8月	1,104,071	710,535	16,149	1,001,152	610,000	12,200	801,987	530,784	9,478
9月	981,156	659,466	14,988	887,815	390,000	7,358	924,496	540,077	9,650
10月	929,852	529,365	12,031	1,165,532	570,000	10,555	1,123,365	637,082	11,176
11月	943,465	567,360	12,895	944,480	460,000	8,363	927,151	531,926	9,171
12月	855,560	441,836	10,042	849,884	430,000	7,818	926,592	525,977	9,227
1月	786,777	429,010	9,789	999,137	450,000	7,894	1,028,693	558,630	10,345
2月	865,267	483,725	10,846	797,224	320,000	5,614	805,330	478,639	8,702
3月	896,764	559,921	12,612	942,760	470,000	8,245	1,045,891	548,178	10,963
合計	11,471,543	7,116,830	13,184	11,468,787	6,170,000	9,871	11,884,598	6,989,728	10,258

別紙1 表2-2 売上収入と工賃の推移(就労継続B型+就労移行)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
売上収入	14,976,717 (0.06%)	15,191,752 (1.43%)	13,598,830 (-10.49%)	13,387,736 (-1.55%)	12,388,392 (-7.46%)	11,471,543 (-7.5%)	11,468,787 (-0.02%)	11,884,598 (+3.6%)
工賃総額	8,349,803 (3.9%)	8,602,260 (3.02%)	7,913,414 (-8.01%)	8,253,339 (4.3%)	8,071,516 (-2.2%)	7,116,830 (-11.83%)	6,170,000 (-13.3%)	6,989,728 (+11.1%)
平均工賃 (月額)	15,419 (1.12%)	16,771 (8.76%)	14,761 (-11.98%)	14,894 (0.9%)	13,881 (-6.8%)	13,884 (0.008%)	9,871 (-28.9%)	10,540 (1.0%)
最高額(月)	37,552	40,258	39,254	38,499	59,172	47,582	74,374(5月)	46,202(5月)
最低額(月)	2,877	2,927	861	1,950	544	1,007	111(11月)	249(9月)

注 下段の()内は、各年度の対前年度比(%)

令和元年度 埼玉県障がい者共同作業所の運営状況

表1 実施事業及び定員

事業名	内 容	定 員
就労移行支援	原則2年間のうちに、所内での作業訓練や外部の機関での研修等により、一般就労に必要な力を身につけていくよう支援する。	6名 (平成24年4月から)
就労継続支援 B型	一般企業への就労が困難な方が所内で作業を行い、工賃を得られるよう支援する。また、希望する方は一般就労に向けて取組みを支援する。	50名 (平成24年4月から)
施設入所支援	何らかの理由で、地域で生活の場を確保できない方に対し夜間や休日の生活の場を提供する。対象者は、障害程度区分4以上の方(50歳以上の方は区分3以上)。	30名

表2 事業別利用者の状況

(単位:人)

		就労移行支援	就労継続支援B型	計
入所・ 通所別	施設入所支援	0	16	16
	通 所	0	41	41
男女別	男	0	48	48
	女	0	9	9
計		0	57	57

令和2年3月31日現在

表3 平成30年度各月ごとの利用者数の変化

	就労移行支援	就労継続支援B型	施設入所支援	通 所
4月	0	57(+1)	16	41(+1)
5月	0	57	16	41
6月	0	58(+1)	17(+1)	41(+1)(-1)
7月	0	58	17	41
8月	0	57(-1)	17	40(-1)
9月	0	58(+2)(-1)	17	42(+2)
10月	0	58	17	42
11月	0	58	17	42
12月	0	58	17	42
1月	0	57(-1)	17	41(-1)
2月	0	57	17	41
3月	0	57	17	41
入退所計	0	(+4)(-3)	(+1)	(+4)(-3)

(+) : 新規利用開始 (-) : 退所

各月末日現在

表4 利用者の出身地域別状況

(単位：人)

市町村名	川口市	さいたま市	草加市	越谷市	和光市	三郷市	新座市	蕨市	深谷市	久喜市	飯能市	秩父市	富士見市	上尾市	戸田市	寄居町	松伏町	県外	合計
入所	1	6	1	1	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	1	2	17
通所	2	25	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	1	1	8	0	0	0	41
合計	3	31	1	2	1	0	0	3	0	2	0	1	1	1	8	1	1	2	58

表5 利用者の年齢状況

(単位：人)

令和2年3月31日現在

年齢区分	入所者	通所者	計
20歳未満	0	1	1
20歳～30歳未満	3	12	15
30歳～40歳未満	0	2	2
40歳～50歳未満	3	14	17
50歳～60歳未満	5	9	14
60歳～65歳未満	4	1	5
65歳以上	2	2	4
計	17	41	58

○最高齢 入所 68歳(70歳) 通所 74歳(72歳)

○平均年齢 入所 51.1歳(53.3歳) 通所 41.2歳(41.7歳)

※()は前年同月の年齢

表6 利用者の障がい状況 (単位：人)

障がいの区分		入所者		通所者		計
		人数	等級別人数	人数	等級別人数	
身 体 障 害	精神障害	0		5	2級(4) 3級(1)	5
	聴覚言語障害	1	1級(1)	1	1級(1)	2
	肢体不自由	12		15		27
	上肢	1	1級(0) 2級(0) 3級(1)	1	1級(0) 2級(1) 3級(0) 4級(0)	2
	下肢	3	2級(2) 3級(1)	1	1級(0) 3級(1)	4
	体幹	8	1級(4) 2級(4)	13	1級(5) 2級(3) 3級(4) 4級(1)	21
	重複障害	2		4		6
	身体障害	2	1級(1) 2級(0) 3級(1) 4級(0)	4	1級(2) 3級(2)	6
	知的障害	2	A(1) C(1)	3	A(2) B(0) C(1)	5
	精神障害	0		1	2級(1)	1
小計		15		25		40
知的障害		2	B(1) A(1)	16	○A(2) A(6) B(5) C(3)	18
計		17		41		58

○利用者の障がい者手帳取得状況（重複障がいあり）

		入所	通所	計
身体障害者手帳	1級	6	6	12
	2級	6	4	10
	3級	3	5	8
	4級	0	1	1
	不明	0	0	0
	計	15	16	31
療育手帳	㊸	0	2	2
	A	2	10	12
	B	1	5	6
	C	1	5	6
	計	4	22	26
精神障害者保健 福祉手帳	1級	0	0	0
	2級	0	6	6
	3級	0	1	1
	計	0	7	7

令和2年3月31日現在

表7 過去5年間の利用者数の変化

		平成26 年 度	平成27 年 度	平成28 年 度	平成29 年 度	平成30 年 度	平成31 年 度
年度中 の増減	利用	2	11	6	8	10	4
	退所	4	7	7	5	2	2
年度末利用者数		46	44	48	46	56	58

※令和2年度4月1日現在